

人権学習展開例〔第6学年〕

1 主 題 多文化共生

2 教材名

27 外国につながるのある友だち

3 主題・教材について

日本で暮らす外国人が増えている中、奈良県においても外国人登録者数は1万人を超え、その国籍も多様化している。子どもたちが、日常生活で外国の文化を身近に感じることも増えている。しかし、私たちの「外国人」に対する画一的なイメージにより、時として、一人一人の個性は否定され、外国人にとって暮らしにくい日本社会が形成されることになりかねない。

この教材では、自分もつ外国人に対する見方を問い直し、身近に暮らす外国につながるのある子どもたちの現状や願いを知り、文化や言葉の違いを尊重しながら、共に生きていこうとする態度を育てたい。

(関連教科・領域：社会、道徳、総合的な学習の時間、特別活動)

- 4 ねらい
- ・自分もつ外国人に対する見方を問い直し、外国人に対する画一化されたイメージを払拭するにはどうすればよいかを考える。
 - ・日本で暮らす外国につながるのある子どもたちの現状や願いを知る。
 - ・外国人にとっても暮らしやすい日本社会を築くため、自分たちができることはないかを考え、話し合う。

- 5 指導計画
- 第1次 外国人を画一的にイメージしてしまっている自分に気づくとともに、そのことが外国人にどのような思いをもたせているかを考える。
- 第2次 日本で暮らす外国につながるのある子どもたちの願いを知る。
- 第3次 外国につながるのある人の話を聞き、文化の違いや言葉の違いを知り、日本で暮らす上での願いの実現に向けて考える。(発展)

6 展開例

第1次

○ねらい 外国人を画一的にイメージしてしまっている自分に気づくとともに、そのことが外国人にどのような思いをもたせているかを考える。

過程	主な学習活動	指導上の留意点	備考
導入	・外国人と出会ったり、話したりした経験についてふり返る。		
展 開	<p>「外国人」のイメージについて話し合おう。</p> <p>・ワークシート1「外国人はだれでしょう？」を使い、それぞれが持っている「外国人」のイメージについて話し合う。</p>	<p>・理由を考えさせることにより、肌の色、服装、顔立ちなどで外国人を画一的にイメージしていることに気づかせたい。</p> <p>・5人全員が外国人である可能性もあるし、日本人である可能性もあることを伝え、表面的な特徴だけで外国人と決めることはできないことに気づかせたい。</p> <p>・外国人とは、日本国籍をもたない人であることを説明する。</p>	ワークシート1
	<p>画一的にイメージされる外国人の気持ちを考えよう。</p> <p>・自分たちが作り上げている「外国人」像</p>	・ステレオタイプにイメージされる	

	が、外国人をどのような気持ちにさせているかを話し合う。	と、どんな気持ちになるか出させたい。
	「多文化共生」について考えよう。	
	<ul style="list-style-type: none"> 異なる国籍や文化を持つ人たちが共に暮らす上で必要なことについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 違いを受け入れることと同時に、互いの文化を理解し合うためには、自国の文化を表現する必要があることにも気づかせたい。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 「外国人とはどんな人？」を読んで、学習をふり返る。 	

第2次

○ねらい 日本で暮らす外国につながる子どもたちの願いを知る。

過程	主な学習活動	指導上の留意点	備考
導入	日本で暮らす外国人のことを知ろう。		
	<ul style="list-style-type: none"> 「日本には、どれぐらいの外国人が暮らしているのでしょうか。」を読み、感想を話し合う。 「外国につながりをもつ友だちのことを知ろう。」を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> 国籍上は日本人であっても外国につながる人がある人が日本社会には多く存在していることも押さえる。 	
展開	外国につながる友だちの願いを知ろう。		
	<ul style="list-style-type: none"> 88ページ～91ページを読んで、2人の友だちが日本で暮らしている理由、日本で暮らしていて困ったことをワークシート2に記入する。 2人について読み取ったことをまとめ、外国につながる友だちの思いや願いについて話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「外国につながる人」ということの意味を教材文で確認する。 外国につながる友だちの思いや願いの中から共通する点に着目させる。 	ワークシート2
まとめ	外国につながる人とはどんなことをしたいか考えてみよう。		
	<ul style="list-style-type: none"> 身近に外国につながる人がある人がいたら、一緒にどんなことをしたいか、どんなことを聞いてみたいかを、ワークシート2に記入し、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な国や地域の文化に興味をもたせ、進んで異文化を知ろうとする気持ちをもたせたい。 あらかじめ、地域に暮らす外国につながる人のある人の情報を得ておき、子どもたちに伝えることも考えられる。 	ワークシート2

第3次（発展）

○ねらい 外国につながる人のある人の話を聞き、文化の違いや言葉の違いを知り、日本で暮らす上での願いを考える。
（※展開例は省略）

外国人はだれでしょう？

名前（ ）

○ ここにいる人は、それぞれどこの国の人でしょう。また、どうしてそう思ったのでしょうか。

A

B

C

D

E



	どこの国の人	そう思った理由
A		
B		
C		
D		
E		

外国につながりのある友だちのことを知ろう

名前（ ）

- 教材文を読んで、まとめましょう。

名 前	日本で暮らしている理由	日本で暮らしていて困ったこと
王 春枝 さん		
山原エリカ さん		

- 外国につながりのある友だちの思いや願いで、共通するのはどんなことでしょうか。

- 自分の身近に外国につながりのある人がいたら、いっしょにどんなことをしてみたいですか。どんなことを聞いてみたいですか。